

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0790700033		
法人名	特定非営利活動法人 豊心会		
事業所名	グループホームすずらん紡 横糸の棟		
所在地	福島県須賀川市小作田字荒町台17		
自己評価作成日	平成26年1月25日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 福島県介護支援専門員協会		
所在地	郡山市亀田2丁目19-14 チャレンジビル2階		
訪問調査日	平成26年2月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「入居者が中心」という理念を念頭に置き日々の支援にあたっています。入居者の可能性に目を向け、入居者の持てる力を発揮して楽しめる食生活。ご家族との関係性の継続。地域との関係性の構築。心身の健康。四季を大切に居心地の良い住まいの提供。入居者同士のつながり。これらを大切に支援しています。入居者の方が持てる力を発揮して、生き生きと、安心して生活して頂けるように支援していきます。また、地域の方々とは、買い物や避難訓練を一緒に行ったりと少しずつ関係性を築いています。今後もご近所での買い物や合同での避難訓練、地域行事への参加などにより、入居者にとって過ごしやすい環境となるだけでなく、地域の方にとっても、グループホームが地域にあることが良かったことと感じて頂けるように関わっていきたく思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

施設設立二年目と若い事業所ではあるが、法人としての歴史は古く、認知症介護では地域の牽引役を担っている。この為か設立して間もない事業所であるにも関わらず職員の意識は高い。法人全体として各種委員会を設立したり、合同の家族会なども開催している。法人代表は「常に変化していく介護ニーズに応えた在宅の援助、自分の生活を続けていける事が私たちの挑戦」と話していた。若い職員の「日常の一つ一つの援助が施設としての非日常の援助となっていないか常に考える。」という発言に事業所の広く深く求める介護の姿を見た気がした。入居者を中心として地域との関わりを大切にしている姿勢が見られ、行事ごとや災害訓練などその実践が見て取れた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の中に「地域の一員となる」という事を掲げています。管理者、職員はその理念を念頭に置き、実現に向けて、近所の方にあつた時には挨拶を忘れずに行うように心がけるなどしています。	法人理念を実現する為の目標を作っていた。目標は職員の事務室に掲示してあった。援助のたびに立ち戻り理念に沿った援助となっているか自問しながら援助していると聞いた。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所のお店で利用者の方とご一緒に買い物するようにしています。町内会の盆踊りに参加したり、地域の消防団の方々と合同で避難訓練を開催しました。運営推進会議に参加して頂いている区長さん、老人会会長さんより地域の行事について教えて頂いています。	買い物は近所で行っている。馴染みになったお店ではお茶をご馳走になって会話を楽しんでいる。老人会の忘年会で施設見学もあった。区長が折々に事業所を訪ねてくれたり、地域の行事の橋渡しをしてくれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	管理者がキャラバンメイトなので、サポーター養成の研修などの依頼があれば参加しています。ホームへ相談に来られたり、電話などがあつた場合にはお話をしていますが、地域の方に向けてはまだ行えていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回開催しています。GHでの利用者の生活の様子を知っていただけるような内容で行っています。参加して頂いている皆さんから感想や気が付いたことを伺っています。	当日の資料は写真を多用し、視覚での報告により入居者の日頃の生活を伝える努力をしている。その取組から理解が深まり、避難訓練に地域から協力が得られるようになった。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	法人として市との情報交換や、何かあれば相談、報告を行っています。また、キャラバンメイトとして定期的に会議に参加し市の職員の方と話をしています。	二次福祉避難所の指定を受けている。依頼を受けて市職員を対象とした認知症サポーター養成講座を行うなど連携を深めている。市主催の災害対策の会議やキャラバンメイトの会議にも出席している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関その他夜間以外は施錠していません。身体拘束についての研修を行っています。また、日ごろから職員間でケアについて確認を行いながら支援しています。	倫理、専門職の責務、権利擁護、ケアの概念など、広く学ぶ体制を作り、深く理解できるよう工夫している。入居者と職員との会話の場面でも気が付いた職員が声かけをして振り返りを促している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待について研修を行いました。利用者の尊厳を大切にすることで、虐待することがないように努めています。また、虐待が見過ごされることが内容にケアの確認を行いながら支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部研修にて権利擁護、倫理について学ぶ機会を設けていますが十分に理解されているとは言えません。本人の意思決定や意向、苦情の代弁、擁護に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約については説明資料を準備し、十分理解、納得したうえで契約してもらえるように関わっています。見学にも来ていただき実際に見て頂くようにしています。改定などがある場合には説明を行うようにしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に1回ご家族にアンケートを行い運営に反映させるようにしています。家族会を発足し年に1回は家族会を開催しています。ご家族同士の交流が増え、話ができる関係となるようにしていきたいと考えています。	年1回法人全体でサービス利用者満足度調査を実施している。それを各事業ごとに集計し運営に生かしている。今年度はアンケート結果に基づき、3事業所合同の家族会を開催し、家族の不安や要望を聞いた。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常の中や定期的な職員会議、内部研修などの中で意見を聞くようにしています。年に1回は理事長との面談を行っており、要望などを話せる機会を設けています。	普段の会話の中で上司と相談ができています。「気づきのメモ」を通して日々の援助に生かしている。また行事を行う前に目的や効果を再確認することで新たな発見や意見を引き出し運営に生かす工夫をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員がリフレッシュでき、仕事に意欲を持つて少しでも取り組むことが出来るようにと考えています。リフレッシュ休暇を6日設け、長期で休むことが出来るようにしています。休日も5日増えました。4月より就業規則も変わり働きやすい環境となるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内では基礎研修や、経験年数別に合わせた内容でレベルアップ研修を行っています。外部の研修では、職員の経験や研修内容に合わせて研修への参加を促しています。職員が出来るだけ研修に参加できるように努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人が県GPI協議会の役員として運営に携わっています。また、東北各県の事業所とも交流があります。ほかの事業所と交換研修を行ったり、研修時などに情報交換を行っています。今後も質の向上のためほかの事業所との交流を図っていききたいと思います。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人とお会いしたり、ご家族に話を伺い不安や現在の様子での躰きなどを少しでも解消できるように現状把握に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時には必ずご家族から要望や不安、心配な事を聞き、記録に残して、職員全員が確認できるようにしています。面会時などに少しずつでも職員に話をしてもらえるように関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受け、必要なサービスを紹介しています。グループホームは入居待ちの状況なので申し込みを受け付ける際にその旨をお伝えしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「一緒に暮らしていく」という考えで支援しています。利用者の方が出来る所は行ってもらい一緒に生活しています。利用者から職員が教わることも沢山あります。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者にとっても、ご家族にとってもお互いが大切だと考えます。グループホームに入居して関係が切れてしまうのではなく、入居後も関係が続き、絆が深まるようにと考えています。常に電話などで状況を伝え、相談しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所がグループホームに入居したことで途切れてしまわないように考えています。今まで通っていた美容室に出かけたりしています。お友達が会いに来てくれたり、電話をくれることもあります。	友人からの電話のやり取りや遠方からの訪問などもあった。定期的に友人からハガキが届く入居者がおり、職員援助により返事を書き、一緒に郵便局へ投函する援助をしたと聞いた。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を把握し、状況に合わせて職員が間に入るようにしています。居室へ誘い利用者同士で話をしたり、和室で談笑されたり、作業を助け合いながら行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後にご家族に対して積極的に働きかけは行っていませんが、行っていきたくと思っています。契約が終了したから終わりではなく、終了後も何かあれば相談に来ていただけるような関係でありたいと思います。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや言葉を聞き逃さず、記録に残すようにしています。そして実現可能なことはすぐに実現させたいと考えています。また、本人が何を思い、希望しているのか、その方の立場で考えるようにしています。	専用の用紙を使い入居者の日頃の何気ない行動、不安、要望を把握し、担当者を中心として他の職員の気づきも取り込めるシステムを用いる事で、入居者の想いや意向を把握できる工夫をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際にご家族に利用者の生活史を書いて頂いています。また、担当ケアマネの方たちから今までの生活の様子を伺い把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の過ごし方を伺い、自宅での生活と同じリズムで行えることは行って頂いています。職員がなんでも行ってしまわず、出来る所は利用者に行ってもらえるように体調を見ながら働きかけています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	管理者、職員が話し合いケアプランを作成し、定期的に見直しを行っています。プラン作成の際はご家族の要望などを伺っていますが、まだまだご家族に遠慮があり要望を引き出し切れません。	担当者が原案を作成したものに他のスタッフが気づきや意見を書き込めるような仕組みがあり、それを元にケアプランを作成している。モニタリングに関しても同様に、全員が書き込める仕組みを持っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	どんな些細な事でも気付いた事はケース記録や日誌など記録に残すようにしています。介護計画見直しの際に記録を振り返り活かすようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来るだけ本人の希望が実現するために、勤務を調整したり、職員が協力しあい、柔軟な対応や支援ができるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との関係性は少しずつできてきていますが、利用者を支える地域支援としての把握までには至っていません。地域での生活をよりよく過ごすことが出来るように地域資源の把握に努めていきたいと思ひます。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者それぞれのかかりつけ医の診察を受けています。受診の際はご家族の協力も得て受診へ一緒に付き添って頂いたりしています。受診の内容についてはご家族に報告しています。夜間帯の緊急時にも指示、往診して頂ける体制があります。	家族が受診援助時は日々の健康チェック表と担当のコメントを渡している。受診後は家族より聞き取りを行った内容をケース記録と日誌に記入し職員は必ず目を通してから勤務に入る取り決めをしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1回看護師が勤務して健康チェックを行っています。その際医療面での相談や情報交換を行い、利用者が健康に過ごすことができ、適切な受診が出来るように協力し支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には、面会に何うようになっています。病院での様子、状態の把握に努め、退院後も支援を続けられるようにと考えています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際に重度化・看取りの指針をもとにご家族に説明を行い意向の確認をします。また、ご家族から質問などがあれば随時説明を行います。状態が変化した場合にはその都度以降の確認を行い、共有を行きたいと思ひます。	看取りの経験はない。法人内で看取りの経験がある事業所との連携を取り、その都度、家族の意向を踏まえ希望があれば看取りを行う体制がある。家族会でも看取りについての勉強会を開催したと聞いた。	今後は協力医療機関ばかりではなく、個別のかかりつけ医との連携も考えていきたいとのことであつたので、具体的な課題を検討し、更なる連携に繋がることを期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練は行えていません。研修への参加や勉強会は実施したいと考えています。急変時のマニュアル、連絡体制は作成されています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な訓練を行うようになっています。消防署にも訓練に来ていただきました。また、地域の消防団、自主防災役員の方とも訓練を行いました。今後も地域の方と合同の訓練の開催や消防署のにも来ていただき訓練を行っていきたく思ひます。	消防署や地元消防団、自主訓練も含め年に4～5回、夜間火災を想定し実施している。今後はあらゆる災害に対する訓練を法人全体で連携しながら充実させたいと聞いた。	法人全体でマニュアル作成し、法人事業所間の協力を検討していると聞いた。具体的な内容の作成を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損ねないような声掛けや対応をしています。生活史を良く知り、個別に声掛けや対応をしています。	倫理委員会で知識を深め、個人の尊重とプライバシーを守ることを深める取り組みをしている。具体的な例として排泄援助時に膝掛けをかけるなど本人の羞恥心に配慮した援助をしていると聞いた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中から本人の思いをくみ取ったり、行動や様子を観察することで思いに添えるように支援しています。また、利用者と関係を築き本人の思いや希望を自己主張できるように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせ、一人ひとりの時間を大切に考えて支援しています。希望があれば思いに添えるように速やかに対応するよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で好みの洋服を選んでもらったり、選ぶことが難しい方には選ぶことを手伝っています。また、身だしなみや化粧を自発的に自ら行えるように、目に入る所に置いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を取り入れ献立を利用者と考えています。得意な料理を献立に加えて作っていただいたり、準備や片づけを利用者の方と一緒にしています。利用者の方に作り方や味付けなど教えて頂いています。	入居者がリビングで盛り付けをしたり、和室でゴマを擦ったり、事業所を広く使って調理を楽しむ姿が見られた。食事中も会話が多く笑顔が見られた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの好み、食事形態を把握し提供しています。好きな時にお茶を飲むことが出来るように準備しています。食事、水分量をチェックしています。なお観察が必要な方は別紙で摂取量を記入し職員全体で把握に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声かけや介助にて口腔ケアを行っています。毎食は行えていません。毎月1回歯科往診があり、先生よりアドバイスを頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレの場所を分かりやすく表記しています。排泄のチェックを行っています。排泄パターンを把握し声掛けや誘導を行っています。トイレでの排泄が継続できるように考えています。	手書きのチェックシートをパソコンに入力し個別の排泄統計を取り援助に生かしている。支援の結果、排泄の自立度が高い。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を出来るだけ多く摂っていただいたり、少しでも体を動かして頂けるように勧めています。食事については食物繊維を多く含む食材やヨーグルトなどを摂っていただき自然に排泄が出来るように取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	早い時間、遅い時間問わず利用者の希望の時間に入浴して頂いています。入浴が好きでない方にも声掛けを行い、気分よく入浴して頂けるように勧めています。入浴剤も数種類準備しています。	夕食前後に入浴の希望がある入居者に対し、毎回希望の時間に入浴してもらっている。仲の良い人と入浴している入居者もいると聞いた。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の習慣に合わせて好きな場所で休んでいただくように支援しています。湯たんぽを使用したり、居室の温度や湿度を調整し、気持ちよく休むことが出来る空間づくりに努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ファイナルに各個人の処方薬の説明書を綴じ、いつでも確認できるようにしています。薬の内容が変更になった時には職員全員に周知し、変化の観察を行っています。誤薬、飲み忘れが無い様に確認する職員を決め対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中に楽しみや役割を持つて生活して頂けるよう取り組んでいます。まだまだ工夫が必要な状況です。お茶をしに出かけて気分転換を図ったりしています。行事の際には普段とは一味違った雰囲気を感じてもらえるように準備も利用者の方と行ったりして		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	利用者と相談し、秋に白河へ外出したるまの絵付けを行ってきました。また、普段から外出の希望を伺ったり、自由に外出が出来るように支援しています。今後も利用者の声を大切に外出の支援をしていきたいと思ひます。	年に二回の遠出も含め、日常的な外出は入居者と職員との話し合いによって行先を決めていると聞いた。入居者の必要な物が無くなった時、その都度外出の援助をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で管理できる方には管理して頂いていますが、他の方については職員が管理しています。職員が利用者の代わりに買い物することもあります。一緒に出掛けて品物を選んでもらったり、支払いをしていただいています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたいという希望がある時には支援しています。電話が友人の方やご家族などよりかかってきてお話をされることもあります。手紙のやり取りは行えていません。大切な方たちとこれからも繋がっていただけるように支援していきたいと思っております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に季節の花を飾ったり、外の景色が見えるように和室の障子を開けるようにしています。不快な刺激となるようなものは無いように配慮しています。こまめに掃除を行い清潔を保つように心がけています。	リビングと和室を別の場所に設け、和室には座卓にお茶セットが用意されている。共有空間には入居者と一緒に手作りの物や入居者家族から提供された季節感溢れる壁飾りが飾ってあった。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室やベンチ、リビングで気の合った利用者同士が話をしたり、お茶を飲めるように空間づくりをしています。新聞をのんびりと読んだり、自由にくつろいでもらえるように環境づくりや、見守り対応しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使っていた物を持ってきて頂き今までの生活に近い環境で暮らして頂けるようにご家族へ相談をし、協力して頂いています。居室は個人の家であることを頭に置き、勝手に入るようなことはせず、掃除は一緒に行うように心がけています。	利用者の意向を受けて部屋の入り口に暖簾を掛けたり、思い入れのある家具や人形、家族写真が飾られていたり、一人ひとり個性ある部屋になっていた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	似たような戸が多いのでそれぞれの入り口に張り紙をしたりしています。居室の電気屋エアコンの使用方法が分からない場合にはわかりやすいように説明し印をつけたりシールで表記したり、利用者一人一人がわかりやすいように工夫しています。		